

【別記様式第2号】

山形セレクション（農林水産分野）認定申請調書

- 農産物・林産物（特用林産物） -

申請者の概要

ふりがな	のうぎょうきょうどうくみあい めろんせんもんぶ		
氏名又は名称	農業協同組合メロン専門部		
ふりがな	せんもんぶちょう		
代表者の職・氏名	専門部長		
住 所	〒 - 山形県 市 町4 - 5 - 6		
構成農家数	120戸	常時生産従事数 ¹	275人
T E L	(0235) 64 - x x x x	F A X	(0235) 64 -
担当者	所属：営農販売部 職名：園芸課長 氏名：x x x x		
TEL	(0235) 64 - x x x x	E - mail	xxxx@0000000.or.jp
FAX	(0235) 64 -		

1：基幹的農業従事者（ふだんの主な状態が農業が主の者）の人数を記載してください。

申請品の概要

品目名	メロン	品種名	アンデス、夏のクイツー	商品名	金のハウスメロン	
直近の 生産実績 (17年度)	品目全体	生産量	1,500 t	販売金額	37,500万円	
	当該品種	生産量	1,500 t	販売金額	37,500万円	
生産出荷計画の概要 (18年度)	栽培予定面積		品目全体	80ha	当該品種	60ha
	当該品種の主な栽培地 ¹		町、			
	出荷予定数量 及び品目全体の 販売見込金額	品目全体	1,500 t	38,000万円		
		当該品種	1,500 t			
	認定品		75 t			
	当該品種の作型及び 出荷予定期間		作 型：ハウス早熟栽培 出荷期間：6月下旬～7月中旬			
	集出荷施設（場所）		農業協同組合野菜集出荷場			
	選果・選別・出荷形態 (右欄に を付けてください。)		共選共販(機械選果)・共選共販・個選共販・個選 その他()			
主な出荷販売先 ²		東京都中央卸売市場				

1：市町村名地区名（小字名）まで記載してください。複数の栽培地がある場合は規模の大きい代表的な栽培地を記載してください。

2：J A名、出荷市場名等および直売の場合は販売形態（宅配、直売施設等）を記載してください。

山形基準に基づく認定申請品の生産・流通の取組み

1 高い品質 一切妥協のない優れた品質の商品・サービスの提供

(1) 高品質な商品の生産、商品の厳選と安定供給

食味・形状等、品目・品種の特徴を十分に発揮させる優れた生産技術による高品質な商品の生産と、出荷規格に基づく商品の厳選を行っていること

項目	申請者記載欄
申請品の等級・階級等について、具体的に記載してください。	<p>等級区分： 秀 階級区分： 3L 糖度：14度以上</p> <p>外観、形状等の特徴 玉の大きさは1.5kgで、果形比がほぼ1：1の球形で変形果は全くなし。果皮色は灰緑色で色むらが無く、ネットは密になりすぎずバランス良く、二次ネットの発生はない。ネットの太さは均一である。</p> <p>食味（食味値、糖度、糖酸バランス、果実硬度等）の特徴 しっかりした果肉ながらも繊維質のきめが細かく、口の中でとろける上品な甘さで、食味が非常に良好である。</p> <p>その他高い品質に係るアピールポイント 良質な有機物を投入し土づくりを行い、有機質肥料を主体として施肥を行い、糖度上昇、食味向上を図っている。</p>
格付・検査の方法を記載してください。	<p>格付・検査員の有無 <input checked="" type="radio"/>有(人数 10人)・無</p> <p>格付・検査代表者</p> <p>所属 部 役職 氏名</p> <p>格付・検査の方法（流れ）、留意している事項について記載してください。</p>
花きの場合、日持ち（鑑賞期間）を保証する取組みを行っていますか。行っている場合はその概要を記載してください。	<p>日持ち（鑑賞期間）保証の取組み</p> <p>行っている・行っていない・今後実施予定（ 年 月頃）</p> <p>取組みを行っている場合は保証期間も含め概要を記載してください。</p>

県内外で認知性・周知性を有する品目・品種で、品質及び生産量において安定した供給が可能であること

項目	申請者記載欄
生産拡大や安定出荷、安定した品質の維持・向上に向けた取組み状況を記載してください。	<p>現在の取組み状況、今後の予定などを記載してください。</p> <p>全量がハウス栽培されたもので、部会員全員がハウス内暖房機を設置し、春先の気候変動にも対応できる設備で安定生産を行っている。また、高品質メロン栽培マニュアルを作成し、栽培前の講習会や生育ステージごとの現地講習会、部会員相互のほ場巡回を実施し、高品質安定生産に取り組んでいる。</p>

(2) 流通・販売における優位性の確保と品質管理の体制整備

出荷資材のデザインの統一、優れた品質・機能性等の特徴や食べ方の周知・提案等により、流通・販売段階での優位性の確保に努めていること

項 目	申請者記載欄												
流通・販売における優位性確保のため取り組んでいることを記載してください。	<p>現在の取組み状況、今後の予定などを記載してください。 (流通・消費ニーズの把握、機能性や食べ方の周知・提案、消費拡大のための取組み、出荷箱や荷姿を統一した販売対策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場研修やスーパー等での消費宣伝活動に率先して参加し、消費地からの評価を収集し産地での高品質生産に生かしている。 ・消費者に対しセレクションの表示を明確にし販売する。 ・メロンには、ビタミン類やミネラル等栄養成分が豊富に含まれているので、健康維持増進には欠かせないものであることを販売促進活動等においてアピールしている。 ・産地ならではのおいしい食べ方、青果物基金とのタイアップによるオリジナルクッキングレシピ等をPRし、生食だけに限らない需要の拡大に努めている。 ・ブランド確立を図るため、高品質の出荷に努めるとともに、統一デザインの化粧箱を使用し、産地の想いが伝わるよう努めている。 ・セレクション品については、JA全農との協議のもと、販売先を特定し、事前値決め方式等の協議を行い取り組むこととしている。 												
申請品の主要取引(出荷)先と取引形態(契約取引・相対取引等の割合)を記載してください。	<p>主要出荷先(予定) 取引形態(を付けてください。)とその割合</p> <table border="0"> <tr> <td>青果</td> <td>契約・<u>契約</u>・相対・セリ・直売・その他</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>屋</td> <td><u>契約</u>・予約・相対・相対・セリ・直売・その他</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>XX フルーツ</td> <td><u>契約</u>・予約・相対・相対・セリ・直売・その他</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>契約・予約・相対・相対・セリ・直売・その他</td> <td>%</td> </tr> </table>	青果	契約・ <u>契約</u> ・相対・セリ・直売・その他	50%	屋	<u>契約</u> ・予約・相対・相対・セリ・直売・その他	20%	XX フルーツ	<u>契約</u> ・予約・相対・相対・セリ・直売・その他	30%		契約・予約・相対・相対・セリ・直売・その他	%
青果	契約・ <u>契約</u> ・相対・セリ・直売・その他	50%											
屋	<u>契約</u> ・予約・相対・相対・セリ・直売・その他	20%											
XX フルーツ	<u>契約</u> ・予約・相対・相対・セリ・直売・その他	30%											
	契約・予約・相対・相対・セリ・直売・その他	%											

徹底した品質管理とクレーム対応のための記録管理や体制整備を行っていること

項 目	申請者記載欄
収穫・調整(製)、出荷、流通、販売において、鮮度・品質を保つための取組み(記録管理を含む。)を記載してください。	<p>現在の取組み状況、今後の予定などを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可食適期による収穫の徹底 ・圃場格付けによる品質管理 ・玉割による肉質、糖度等の品質チェック ・早朝収穫、同日出荷、翌日販売の取組み ・セレクション品と他のメロンの混入を防ぐため、収穫から出荷までの管理の徹底と記録簿の整備

クレーム等の処理体制等を記載してください。

生産者（出荷者）名、連絡先等の表示 ・ している ・ していない

・ 表示方法（表示内容・単位について該当項目に を付けてください）

表示内容 ・ JA等出荷組織名 ・ 氏名 ・ 生産者コード・NO. ・ 住所 ・ 電話番号

・ アドレス（HP・メール） ・ ID番号 ・ その他（ ）

表示単位 出荷箱 ・ 小売単位 ・ POP表示 ・ その他（ ）

クレーム等処理に対する責任者の配置

・ している（ 1人 ） ・ していない

クレーム等処理の体制及び発生時の対応を記載してください。

- ・クレーム対応責任者の設置
- ・クレーム対応責任者への研修の実施
- ・クレーム発生時においては、迅速な情報収集、誠実かつ的確な対応、クレームの解決
- ・解決すべき問題点については、再度の発生を防止するため、すぐに対策を実施
- ・セレクション事務局への迅速な連絡による情報の共有化

これまでのクレーム等への対応の記録 ある ・ ない（今後記録する）

2 安全性・安心感への配慮 安全性に十分配慮した消費者から信頼される商品・サービスの提供

(1) 生産工程等における安全性の確保

やまがた安全・安心取組認証等の認証を受けるなど、生産・出荷工程において農薬等の適正使用、栽培履歴の記帳、残留農薬検査の実施等の安全性確保の取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
<p>申請品の安全性確保のためどのような取組みを行っていますか。各種認証制度による認証を受けている場合は、認証制度名等を記載してください。</p>	<p>現在の取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培ハウスの開口部に寒冷紗を設置し、害虫の侵入を防止している。 ・栽培後に太陽熱消毒を行い、土壌病害やセンチュウ類の発生を抑制している。 ・農薬を使用する場合は、容器に記載されている使用基準を確認するとともに、アグリから最新の農薬登録情報を入手している。 ・農薬散布面積を正確に把握し、過不足のない薬液量を調整している。 ・農薬散布作業後は、直ちに栽培履歴に記帳している。 ・やまがた安全・安心取組認証制度の中で、出荷前の残留農薬分析検査を行っている。 <p>認証制度名（対象品目）</p> <p>やまがた安全・安心取組認証制度（メロン）</p> <p>認証番号</p> <p>18 -</p> <p>有機・特裁・エコファーマーは5(1) に記載してください。</p>
<p>申請品の生産に係る肥料（土づくり肥料を含む）や各種資材について記載してください。</p>	<p>使用している肥料、各種資材の商品名や成分等が</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべて明らか ・一部資材は不明 ・ほとんど不明 <p>生産工程管理表への資材名等の記載 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p>
<p>農薬等の飛散等による申請農産物および周辺農作物等への影響防止に向けた取組みを記載してください（ポジティブリストへの対応）。</p>	<p>認定申請品への飛散防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講じている ・講じていない ・今後講ずる（ 月頃から） <p>周辺農作物への飛散防止の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行っている ・行っていない ・今後行う（ 月頃から） <p>具体的な取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培ハウスの開口部に設置した寒冷紗により、農薬のドリフトを抑制している。 ・動力噴霧機の圧力が適正であることを確認するとともに、ドリフト低減型ノズルを用いて防除を行っている。 ・できるだけ認定申請品と周辺農作物に共通で使用できる農薬を選定するようにしている。

(2) 消費者との交流等による信頼性の確保

消費者との交流や生産者の顔が見える販売、トレーサビリティ・システムの導入等、消費者の安心感・信頼性を確保する取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
トレーサビリティ・システムの導入等、消費者や流通関係者への生産情報の開示・提供の取組みについて記載してください。	<p>流通過程における問い合わせに対し生産情報の開示が</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも可能である・出荷直前には可能である・多少時間が必要 <p>生産情報の開示・提供の方法を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青果ネットカタログ（SEICA）に連絡先住所、電話番号、FAX 番号、e-mail アドレスの情報を開示し、流通関係者より問合せがあった場合は迅速に書面や電子媒体等で情報伝達している。また、生産者情報をポップ表示できる機能を付加し、店頭で消費者へ情報が伝わる仕組みを構築している。 ・当方のホームページでセレクション品の生産情報を開示している。なお、ホームページアドレスは青果ネットカタログにも記載している。 <p>IT活用による情報公開可能なトレーサビリティ・システムを</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入している・導入していない・導入予定（ 年 月頃）
消費者や小売店との交流や生産者の顔が見える販売の工夫をしている場合は、その概要を記載してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・配送用のダンボールに、申請品のセールスポイントと生産者の顔写真を入れたリーフレットを添付する。 ・また、生產品の感想などを記入するアンケートのハガキを同梱し、消費者からの声に応えるようにする。

3 山形の自然、歴史・文化の継承 山形特有の地域資源を活かした商品・サービスの提供

(1) 地域資源の活用

地域の自然、歴史・文化・地域づくりとの関わりや産地形成に至る歴史・物語等について、生産・流通・販売において活かす取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
地域の自然、歴史・文化・地域づくりとの関わりや産地形成に至る歴史・物語等について、生産・流通・販売においてどのように活かしているか具体的に記載してください。	<p>自由に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当市は 藩の城下町を前身とし、 地域の中心地としてとして発展してきた。藩政時代から続く行事食や伝統食は西廻り航路によって交易があった京文化の影響を強く受けており、現在においても数多く存在する在来野菜がそれを物語っている。特に藩主によって普及したと考えられる「えだまめ」は、近年関係者の努力によって生産額が急増し、全国有数の産地になるとともに、ブランド品として定着している。 ・当市の農業は、中心地域は水田を主体にした水田農業、東は緩やかな丘陵地帯における園芸、西は海岸砂丘地帯における園芸農業が営まれているなど、多様な立地条を活かした営農を特徴にしている。 ・今回申請したメロン栽培は砂丘地において、昭和50年代前半より本格的に取り組みられ、夏メロンとしては京浜市場における主産地の地位を築いている。メロン生産は先人が幾多の困難を克服して主産地化した品目であり、現在においても砂丘地営農にとって不可欠な存在になっている。

<p>水田農業ビジョンや地域農業振興における位置づけ、市町村等との連携、産地・地域として今後の振興方策、後継者（担い手）の育成・確保方策等について記載してください。</p>	<p>自由に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メロンは、当市の水田営農ビジョンや園芸振興計画において主力品目に位置づけている。温泉地やマリンレジャー地を抱える本市にとっては、メロンは観光地資源としても欠かすことのできない存在になっており、夏期の出荷シーズンにおいては、京浜市場へ出荷の他、産直、贈答等の多様な販売についても古くから取り組まれてきた。 ・今後のメロン生産は、これまで取り組んできた全生産者エコファーマーの取り組みを継続するとともに、主力作型のトンネル早熟栽培の生産安定等を目的に、ハウス早熟栽培の比率を高める計画があり、既に山形県や市役所の支援を受けて施設整備を実施中である。 ・メロン生産における担い手の育成については、施設化の推進による出荷期間の拡大とミニトマト、ストック、葉菜類などの前後作の導入による経営の安定化やメロンのブランド化などにより、担い手や農業後継者の確保が促進するものと考えている。
--	---

4 山形の技術・技法の伝承 伝統的な技術・技法に裏打ちされた商品・サービスの提供

(1) 立地条件に適した技術・技法の維持向上

地域の自然条件を活かした独自の栽培方法の採用や立地条件に適した生産技術の導入等、産地の形成及び拡大に向けた技術・技法の維持向上、普及の取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
<p>申請品の生産・流通・販売において、自然環境や栽培地の地理的条件をどのように活用しているか記載してください。</p>	<p>自由に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当地域は砂丘地帯であり、十分な日照と水はけの良い畑、昼と夜の気温差が大きく、メロン作りに最適な気象・土壌条件で栽培を行っている。また、良質で豊富な地下水を利用し安定した生産が可能となっている。 ・京浜地域へ出荷が中心であるが、産地近郊に空港があり、空輸利用による関西、九州方面へ出荷も行っており品質の評価は高い。
<p>技術の維持向上、高品質生産のための技術開発・普及への取組みについて、自主的なほ場格付や立木審査会等も含めその概要を記載してください。</p>	<p>自由に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定生産を図るため、すべてハウスで栽培で行っている。病虫害発生軽減のため、ハウス開口部はすべて寒冷紗で被覆し隔離状態での栽培を実践している。 ・育苗は自家育苗である。大鉢を用い、細やかな温度管理、肥培管理を徹底し、ずらし行い、低温等の気象変動に対応できる健全でがっちりとした苗を生産している。 ・定植後は、ハウスのメリットを最大限に活かしながら、草勢をきめ細やかな温度管理、肥培管理、かん水管理を徹底し適正な草勢管理を行い、一斉開花、一斉着果で、均一で良質なメロン生産が可能となっている。 ・栽培期間中はメロン部会員全員で、生育ステージごとに園地巡回を実施し、生育状況やそれぞれの栽培上の問題点を指摘し高品質生産に結びつけている。
<p>栄養価を高める等農産物の特性を発揮させるための栽培管理面等での工夫を記載してください。</p>	<p>自由に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大玉生産のため、1株あたり着果を3果に制限している。また糖度上昇や食味向上のため、良質な有機物の投入や有機質肥料の施用、摘心整枝の徹底、収穫期前の水切りを実施している。

5 環境への配慮 山形の自然・大地に対する感謝と敬意を払った商品・サービスの提供

(1) 環境に配慮した生産方式の導入

有機栽培、特別栽培、エコファーマー等、環境に配慮した生産方式や、耕畜連携による土づくりなどの取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
有機栽培、特別栽培、エコファーマー等の認証を受けている場合は、認証制度名等を記載してください。	認証制度名（対象品目） 山形県特別栽培農産物認証制度（メロン） エコファーマー認定制度（メロン）（持続的農業生産計画認定制度） 認証番号 山形県特別栽培農産物認証制度（メロン） H 1 7 - エコファーマー認定制度（メロン） A 1 - 今後認証を受けようとしている認証制度と予定時期 認証制度名（対象品目・認証機関名） 申請予定次期 年 月
化学農薬、化学肥料低減への取組みを記載してください。	減化学農薬 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている (5 割削減) ・行っていない 減化学肥料 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている (5 割削減) ・行っていない
有機物投入等による土づくりと、土壌診断や植物体分析、効率的な施肥技術による施肥の適正化について記載してください。	土づくりの取組み概要（有機物等の種類・年間投入量、耕畜連携の状況等）を記載してください。 地域内の堆肥センターから豚ふん堆肥を購入し、10a 当たり 1 t 施用して土づくりを行っている。 診断の種類と概要、結果の活用方法 JA が行う土壌診断に基づき施肥量を決定している。 効率的な施肥技術の概要 施肥効率を高めるため、有機質肥料をマルチ内施肥（局所施肥）している。
肥料や堆肥等有機物の安全性等に配慮していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 配慮している ・配慮していない

生産資材、残渣、養液栽培における排液（廃液）の適正処理、リサイクル等の取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
農産物残渣や農業用廃プラスチック、使用済み農薬、肥料の容器等生産に係る資材の廃棄・リサイクル処理方法について記載してください。	農産物残渣の処理方法 堆肥化し、メロン以外の作物を栽培するほ場に施用している。 資材の廃棄・リサイクル処理方法 ハウス被覆資材やポリマルチなど使用済プラスチックは、分別を徹底し市町村協議会が行う組織的回収に参加しながら適正に処理している。
養液栽培の場合は、環境負荷軽減に向けた取組みについて記載してください。	

6 その他

(1) 申請品に対する想い（農産物の特徴、栽培面でのこだわり等）を記載してください。

(2) 申請品が山形セレクションに認定された場合、認定品の流通・販売計画（出荷・販売先、認定マークの小売段階までの表示方法、価格設定（交渉）の方法、有利販売に向けたPR方法等）を記載してください。（記載欄が不足する場合は、別葉に記載してください。）

7 添付資料

- (1) エコファーマー認定申請書写
- (2) 土壌診断結果表写
- (3) 農業用使用済プラスチックの適正な処理を証明するもの
- (4) 残留農薬分析書
- (5) リーフレット
- (6) アンケートハガキ
- (7) 高品質栽培マニュアル